



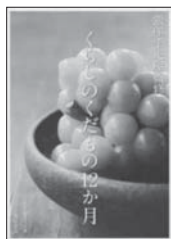
図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q お店には一年中いろいろな果物があるけど、秋が旬の果物って何だろう?

A いっぱいありますよ♪ 梨や柿、すもも、あけび、りんごなどが秋に食べごろを迎えます。こちらの本では、月ごとの旬のくだものを紹介するほか、おいしい食べ方や効能などの豆知識も教えてくれます。



くらしのくだもの12か月

銀座千疋屋 / 監修
朝日新聞出版

レファレンスとは情報や本などを探そう手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

小説・落語 	『十字の記憶』 堂場瞬一 / 著 角川書店
	『林家たい平 快笑まくら集』 林家たい平 / 著 十郎ザエモン / 解説 竹書房
料理 	『使えるじゃがいもレシピ』 小泉功二ほか / 著 柴田書店
生活 	『老前整理のセオリー』 坂岡洋子 / 著 NHK出版
生きもの 	『その道のプロに聞く 生き物の持ち方』 松橋利光 / 著 大和書房

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。



水族館



館長 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

アシカが死んでしまいました

■アイが教えてくれたこと

アシカのアイが8月に亡くなった。正直、私はアイをそれほどかわいがらなかった。というのは、アイは明らかに「ショーをやりたくないアシカであった」からで、アイは本当によくショーをサボった。私はそれで、アシカはショーをやりたくてやっているわけではないんだな、アシカにもアシカの考えがあるのだな、ロボットのように思うようにはいかないぞ、ということを感じて「溺

愛」ということはやめて、ショーをせずにショーと同じだけの満足度や感動や驚きをお客さんに与えることができるアシカの展示はできないものかと、ずっと考えていた。それは今も変わらず、結局今

■謝罪で済ませたアシカショー

ショーをやらなければやるようにトレーニングをしたり、食事制限を厳しくするのが普通だけれど、なるべくそれは控えてやりたくなければやらなくていいよ、と私は思ってしまった。そのた

めか本当によくショーをボイコットして、私はそのたびにお客さんに謝っていつしか「竹島水族館の謝罪ショー」として有名にもなった。私が謝ってアイがやりたくなかったというのではないかと、という気持ちがあった。調教やトレーニングの研修会の案内や勉強会の誘いが来ても、そこで学んできたことを得意げにアイに活かして、アイをコントロールしてしまおうのが何だか嫌だったので一度も行かなかった。他の水族館のトレーナー(調教師)は積極的に参加して勉強しているのだから、私はそうだった飼育員からは少しおかしな目で見られていた。逆に私は真剣に調教を学んで完璧に動物を操るトレーナーを毛嫌いするほどになってしまっ

た。トレーナーとしては完全に失格の飼育員だと自分でも思う。

■悲しいよりも、残念
アイが死んだとき、私にはかわいがっていた動物、愛情を注いだ動物が死んで悲しいというよりも、単純に一緒に頑張ってきたパートナー、スタッフが一人いなくなったという感覚しかなかった。死んだアイを目の前に、これでやっとなつたね、という思いが大きかった。しかしその夜に寝るとき、雪が降る日も、お客さんが一人しかいない最悪だった閑散期時代も一緒にやってきた仲間だったなあと考え出したら残念で残念で涙が止まらなかった。